



内容目次

- ・紅葉
- ・インフルエンザワクチンについて
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

紅葉



暑い夏も過ぎ去り、季節も移り変わってきました。樹木の葉色も赤や黄色に変化し、各地で紅葉の時期を迎えています。しかし、なぜ樹木は黄色や赤色に葉色を変えるのか？皆様はご存知ですか？気になったので調べてみました。

調べてみると、まだ解明されていないようですが、有力な説をご紹介します。日差しの強い夏は葉の葉緑体でたくさん光合成をして栄養分を得ていますが、秋～冬にかけて日差しが弱くなり日照時間が減ると光合成で得る栄養分が減り、葉を維持する事が難しくなります。ここで樹木は葉を落とす(落葉)のですが、その前に葉の中の栄養分を回収するという大切な仕事をします。栄養分を回収されて必要無くなった葉の中の葉緑体(緑の色素)は分解され、今まで見えなかったカロテノイドという黄色の色素が浮き出るのがイチョウ等の「黄葉」。また、葉に残った栄養分と葉緑体が反応して出来たアントシアンという赤い色素が目立つのがモミジ等の「紅葉」です。

日本は実に国土の約6～7割が森林で、全国各地で美しい紅葉を見ることが出来ます。四季があり寒暖の差がハッキリしているという事も日本の紅葉が美しい理由なのだそうです。日本の美しい秋の風物詩である紅葉は、樹木にとっては大切な生命活動。厳しい冬を越える為の力強さに美を感じます。寒くなってきましたが、積極的に季節の移り変わりを楽しんでみてはいかがでしょうか？

インフルエンザワクチンについて

『今年からインフルエンザワクチン 4 価となりました。』と、テレビの報道で観た方も多いかと思います。2013 年米国で承認されて以来、世界的にインフルエンザ 4 価ワクチンの導入へと移行してきており、今年 3 月インフルエンザの流行に向けて、日本でも 4 価ワクチンの導入が決定しました。

インフルエンザには、A型、B型、C型がありますが、日本で近年流行しているのはインフルエンザA型（H1N1、H3N2）とインフルエンザB型（山形系統、ビクトリア系統）の4種類です。今まではA型の2種類とB型のどちらかの3種類に対応していましたが、A・B型4種類に対応できるようになりました。

一般的にワクチンの効果は、接種して2週間から約5ヶ月と言われております。重症化しないためにもワクチン接種を強くお勧めします。とは言っても、やはり普段からの予防が何よりも重要となります。ワクチンを接種しても完全に感染を防御できる訳ではありません。感染を拡大しないためには、ひとり一人が食事前・外出後の手洗いやうがいをする、マスクをする、人ごみにはなるべく近付かない、ゆっくり休養を取るなどの予防策をしっかりと行うことが大切です。また、疑わしい症状がある時には早めに医療機関へ受診しましょう。ワクチン接種・手洗い・マスクをして、みんなで寒い冬を乗り切りましょう！

インフォメーション

1. 内科外来よりお知らせ

平成 27.年 11 月 13 日 (金)

ご予約患者様のみのお診察となります。

2. 休診について (10/26 現在)

11 月 11 日 (水)	皮膚科	休診
11 月 13 日 (金)	眼科	休診
11 月 13 日 (金)	脳外科	休診
11 月 13 日 (金)	内科	掛村医師休診
11 月 26 日 (木)	外科	千葉医師休診
11 月 27 日 (金)	緩和ケア内科	篠原医師休診
11 月 27 日 (金)	外科	篠原医師休診

(変更する場合があります。休診等の情報は、北棟 1 階の掲示板をご覧ください。)

3. 救急外来について

救急外来で診察を希望される方は、直接来院される前に、必ずお電話で診察が受けられるかご確認下さい。

入院中の患者様の診察など他の業務により、お断りする場合やしばらくお待ち頂く場合もありますので、予めご了承下さい。ご協力とご理解をお願い致します。なお、当日の精算は出来ません。

・会計にて一時預かり金をしています。



お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地

TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354

